

16. 青森県の温泉と経年変化について(口述発表
11-2, 保健・医療・福祉サービスの充実のために
, 2007年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録)

著者	村上 淳子, 桶田 幾代, 野村 真美, 秋山 由美子, 小林 繁樹, 石塚 伸一, 高橋 ひとみ, 阪崎 俊璽, 安田 徳彦
雑誌名	青森県立保健大学雑誌
巻	9
号	1
ページ	86-87
発行年	2008-06
URL	http://doi.org/10.24552/00001894

青森県の温泉と経年変化について

村上 淳子¹⁾ 桶田 幾代²⁾ 野村 真美³⁾
 秋山由美子⁴⁾ 小林 繁樹⁵⁾ 石塚 伸一⁶⁾
 高橋ひとみ⁶⁾ 阪崎 俊璽⁶⁾ 安田 徳彦¹⁾

- 1) 環境保健センター
- 2) 県境再生対策室
- 3) 県立中央病院
- 4) 生活衛生課
- 5) 上十三保健所
- 6) 青森環境管理事務所

Key words：温泉 泉質 泉質変化 地域特性

I. はじめに

青森県は全国有数の温泉県で、源泉総数は平成18年3月31日現在1038本で、285箇所の温泉利用公衆浴場数(青森県統計情報)があり、広く県民に利用されています。

温泉は複雑な湧出機構により、泉質が変化する可能性があります。そのため、平成19年10月に温泉法が改正され、温泉成分表示については、おおむね10年毎に検査を実施し、新しい泉質表示をするよう義務付けられることになりました。

当所では1980年から、温泉の源泉保護と、適正利用を図る目的で、県内温泉の経年変化について継続的に調査してきました。

II. 目的

これまでの調査結果を地域ごとにまとめることにより、泉質の地域特性や、地域ごとの泉質変化状況を把握する。

III. 調査方法

掘削時に当所が検査した源泉で、おおむね10年以上

経過したものを対象に、再検査を行い、泉質変化の有無について調査した結果を地域ごとにまとめた。

IV. 結果

1. 県内源泉数及び調査源泉数

これまで当所で検査を行った源泉数及び経年変化調査数、泉質変化数を表1に示した。(町村合併以前の市町村名で計上)

- ① 県内市町村のほとんど全部に源泉が存在する。
- ② 源泉数は中弘南黒地区が最も多く、全体の約4割を占め、下北地区が約5%と少ない。
- ③ 経年変化調査数は260件で、中弘南黒がそのうち96件と最も多く、三八地区が19件と少ない。

2. 地区別源泉の泉質

- ① 県全体では塩化物泉が5割、単純泉が3割、その他が2割である。
- ② どの地区も塩化物泉が最も多く、次いで単純泉が多い。
- ③ 東青地区は硫酸塩泉、三八地区は冷鉱泉、下北地区は硫黄泉が多く、西北五地区では8割が塩化物泉と、地区により泉質の種類に違いがある。

3. 地区別泉質変化状況

- ① 市町村により、検査数に対する変化の割合が異なる。
- ② 下北地区の源泉は、変化が少ないが、三八地区の源泉は変化した割合が多い。
- ③ 三八地区では、成分減少による療養泉から単純泉への変化と、成分減少と温度低下により温泉非該当となったものの割合が多い。
- ④ 西北五地区や中弘南黒地区は、副成分の変化が大半を占めている。

V. まとめ

- ① 調査源泉の約2割が泉質変化している。

表1 温泉経年変化調査源泉数及び変化源泉数

地区	東青地区			中弘南黒地区			三八地区			西北五地区			上十三地区			下北地区			計
	町村名	源泉数	検査数	町村名	源泉数	検査数	町村名	源泉数	検査数	町村名	源泉数	検査数	町村名	源泉数	検査数	町村名	源泉数	検査数	
町村名	青森市	151	28	弘前市	78	15	八戸市	48	13	五戸市	36	18	十和田市	18	4	むつ市	12	7	
	平内町	7		岩手町	58	15	三戸町	4		板柳町	14	2	三戸町	28	13	八戸町	8	4	
	蟹田町	0		根野町	5	2	五戸町	4	2	金木町	5	2	野辺地町	8	3	六戸町	15	3	
	津軽町	1		西目梨村	9	1	津子町	5	2	中栗町	6	1	藤崎町	4		大間町	2	2	
	遠田村	2		黒石市	62	11	名川町	1	1	藤田町	11	5	三戸町	10	3	佐井村	2		
	平野村	3	3	藤崎町	7	3	南郷町	2		黒川村	2		七戸町	8	1	北陽町	10	6	
	三沢村	2	2	大鰐町	43	11	南上町	2		小泊町	4		十和田町	32	4	弘前町	1	1	
	浪岡町	9	4	尾上町	9	3	善徳村	1	1	市川村	1		上北町	18	6				
				千賀町	81	15	新郷村	6		津川町	9	3	下北町	10	3				
				常盤村	4	1	鹿野村	(1)		木造町	6	3	豊北町	12	3				
				田舎館村	8	5	船越町	3		津波町	13	4	津波町	1					
				船越町	44	14				古田町	7	1	野尻町	5	1				
										岩手町	8	3	岩手町	3					
										甘平	7	1	六ヶ所町	3					
										石川町	6	1							
	源泉数	175		408		76		135		160		50		1004					
検査数	37		96		19		44		41		23		260						
塩化物	10		23		7		9		6		3		58						
変化率%	27.0		24.0		36.8		20.5		14.6		13.0		22.3						

- ② 特殊成分や副成分が変化したものが約半数で、療養泉から単純泉、あるいは、温泉に該当しなくなったもの、単純泉から療養泉に変化した温泉が約4割で、温度変化によるものが1割であった。
- ③ 療養泉から単純泉あるいは、単純泉から療養泉に変化した温泉、特殊成分が変化した温泉は、適応症や、禁忌症が変わるため、利用に際しては注意が必要である。
- ④ 療養線から単純泉に変化している温泉は、衰退化が疑われるので、今後も定期的に調査し、利用方法等に注意する必要がある。
- ⑤ 泉質変化はしていないが、成分や温度が大幅に変化している源泉もあるので、これらにも注意が必要である。

VI. 文献

- 高橋他：青森県における温泉泉質経年変化（1980～1989），青森県環境保健センター研究報告，6,27-33
- 村上他：温泉泉質経年変化（1989～2001），青森県環境保健センター研究報告，13,53-61